## 宮﨑陽江 ／ Violin

ニューヨーク州イサカ市生まれ。幼少期をパリにて過ごし、3歳よりヴァイオリンを始める。堀正文、山口裕之両氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業後、同研究科一年修了。同年、ジュネーヴ高等音楽院にてジャン=ピエール・ヴァレーズ氏に師事し1997年、同音楽院をプルミエ・プリ(一等賞)にて卒業。在学中、モダン・バロック両楽器をハンス=ハインツ・シュネーベルガー氏に師事。以来、日本とジュネーヴの拠点を生かし、欧州と日本を繋ぐ活動を展開。主要音楽祭に多数参加すると同時に、音楽DVD「源流を求めて」シリーズは衛星チャンネル・クラシカジャパンにて放送され、好評を博す。国内外でのソリストとしての活動は多岐にわたり、これまでにソリスト・ド・ジュネーヴ、ジュネーヴ室内管弦楽団、バス・ノルマンディー管弦楽団、スロヴァキアフィルハーモニー管弦楽団、北東ドイツ管弦楽団、デュッセルドルフ管弦楽団、国内では東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、読売日本交響楽団等と共演、また、矢崎彦太郎、秋山和慶、大友直人、レオシュ・スワロフスキー等名匠との共演を果たしている。室内楽奏者としての活動も広く、自らの室内楽ムーブメントyoe Productionsの活動として、国内外のツアーを行うなど精力的に活動。自作曲を含むCD6枚好評発売中。 ▸▸▸ www.yoe.jp

photo:Michiharu Baba

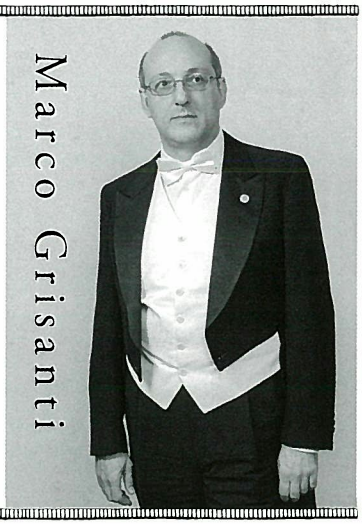
## 白尾 隆 ／ Flûte

1953年東京生まれ。桐朋学園大学を経て、ドイツ・フライブルク国立音楽大学に留学。78年「特別優秀賞」を得て卒業後、チューリッヒ音楽院にて研鑽を積む。フルートを林りり子、森正、オーレル・ニコレ、アンドレ・ジョネの各氏に師事。80年オーストリー「インスブルック交響楽団」首席フルート奏者に就任。86年帰国後、「サイトウ・キネン・オーケストラ」国内外の公演に参加。88年より「ドイツ・バッハ・ゾリステン」毎回の日本公演においてソリスト、メンバーとして共演。また「安田弦楽四重奏団」と永年に渡り共演を重ねる。現在、ソロ、室内楽奏者として、また「アンサンブル・アルス・ノヴァ」をはじめとするいくつかの演奏団体においてバッハの宗教音楽等のソロ奏者を務める。桐朋学園芸術短期大学特任教授、武蔵野音楽大学講師。

## マルコ・グリサンティ ／ Piano(Clavecin)

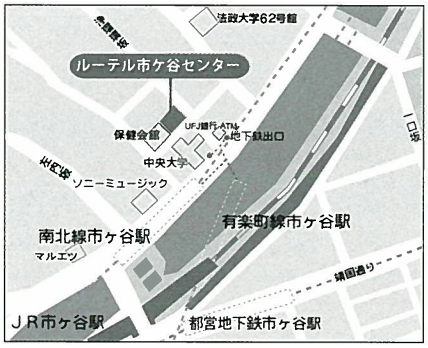
カンポバッソ国立音楽院室内楽科教授。これまでに、ウート・ウーギ、フェリックス・アーヨ、フランコ・ペトラッキ、庄司沙矢香、エマニュエル・パユら著名アーテイストと共演多数。活動は欧州、アメリカ、日本各地に亘る。サン・チェチーリア音楽院にて、ピアノをマヤ・サマルギエヴァに師事。デイプロマ最高位、“クム・ラウデ”賞受賞。同時に、同音楽院で作曲も学ぶ。室内楽奏者としても定評があり、ラジオ、テレビにも多数出演している。欧州各地のマスタークラスに招聘されるなど、後進の指導にも力を注いでいる。

photo:Takashi Matsuda




## 花崎 薫 ／ Violoncelle

東京藝術大学在学中、ドイツ学術交流会給費留学生としてベルリン芸術大学留学。東京藝術大学在学中に安宅賞を受賞。1981年、第50回日本音楽コンクール、チェロ部門第3位入賞。1986年、文化庁在外研修員としてドイツ、カールスルーエ音楽大学に留学。長年にわたり、新日本フィルハーモニー交響楽団の首席チェロ奏者として、歴代の指揮者のもとで、オーケストラを支えた。現代音楽のアンサンブル、東京シンフォニエッタのメンバーとしても活躍し、2011年同団としてサントリー芸術財団、佐治敬三賞を受賞。現在、愛知県立芸術大学音楽学部教授、名古屋音楽大学客員教授、東京藝術大学、武蔵野音楽大学非常勤講師。2013年、ベートーヴェン、チェロとピアノのための全作品のCDを発売。またメンバーの一人を務めるエルデーディ弦楽四重奏団は、ハイドン、ベートーヴェン、メンデルスゾーン、シューマンの作品のCDを発売している。




**ルーテル市ヶ谷センター**
**コンサートホール**

東京都新宿区市谷砂土原町1-1
TEL 03-3260-8621

**アクセス【 各線 市谷駅下車 】**

◎ JR・総武線　地上出口 ― 徒歩7分
◎ 都営地下鉄・新宿線 ―― A1出口 徒歩7分
◎ 東京メトロ・有楽町線 ―― 5・6番出口 徒歩2分
◎ 東京メトロ・南北線 ―― 5・6番出口 徒歩2分